

子どもの心へ届けたい本

平成 30 年度 神奈川県児童福祉審議会推薦

優良図書

1 幼児以上対象

あのこと ことはあそび・はやくちことばの詩集。「さんにんきょうだい」「ねこ」「いるか」「にじ」など子どもに身近なテーマを題材に、擬音語や同音異義語を用いることにより声に出して楽しめる作品で、全編に素朴で味わい深いタッチのイラストが添えられた文庫サイズの詩集。 小沢千恵 / 著・下田昌克 / 絵 銀の鈴社 1,000 円（税別）		おうち なぜわたしは「おうち」に帰ってくるのだろう。犬やハトやミツバチやサケも、なぜ自分の家に、生まれたところに帰ってくるのだろうか。「おうち」が見えるとおとし、あたたかい気持ちになることや、戦争や災害で家をなくし帰りたいところに帰れない、世界の人たちの気持ちを思いながら、「おうち」について考える絵本。 中川ひろたか / 作・岡本よしろう / 絵 金の星社 1,300 円（税別）	
きょう、おともだちができたの はずかしがりやのゆうなちゃんにはおともだちがいなかった。そんなゆうなちゃんに声をかけてきたりなちゃん。二人はあつという間におともだちに。初めておともだちができた喜びをみんなに知ってほしいゆうなちゃんは、周りの人に話しかけていき、いつの間にははずかしがりやさんではなくなっていく。 得田之久 / 作・種村有希子 / 絵 童心社 1,300 円（税別）		さよならともだち 大人になるために一匹で山を下りたこぎツネ。しかし、寂しさを感じ「ともだちや」を始める。「ともだちや」を通じて知り合ったのはオオカミ。実はオオカミもこぎツネと同じ思いを抱いていた。共感し合う二匹は、さよならは出会いの始まりだと知る。 内田麟太郎 / 作・降矢なな / 絵 偕成社 1,000 円（税別）	
すずちゃんのうみぞ 自閉症スペクトラム (ASD) の すずちゃんの、ママからのおてがみ すずちゃんは、自閉症スペクトラム (ASD) という障がいがあり、年長になってもことは話せない。保育園での行動もみんなと違う。周りのお友だちが感じるシンプルな疑問にすずちゃんのお母さんがやさしい語り口で答える。自閉症の娘をもつ母親が、娘の障がいについて卒園前のお友だちに感謝の気持ちを込めて送ったメッセージ。竹山美奈子 / 文・三木葉苗 / 絵・宇野洋太 / 監修 岩崎書店 1,600 円（税別）		そうべえときじむな一 軽業師のそうべえが焚火にあたっていると、山を下りてきた山伏のふろしきに焚火で温めた空気が入り、空へ舞い上がった。それを見たそうべえたちは、大きなふろしきで気球を作り、南の方へと飛んで行く。南の琉球王国にはきじむな一という親切な妖怪がいる。ある日、そうべえたちは、きじむな一のくれた姿の消えるかくれみのを着ていたずらをするが…。 「じごくのそうべえ」シリーズの一冊。 たじまゆきひこ / 作 童心社 1,500 円（税別）	
タイショウ星人のふしぎな絵 ハムスター王国の女王さまに、壁をかわいいタイルで埋め尽くすよう頼まれた絵描きのキャンディが、タイショウ星人の力を借りて図形を敷き詰めて壁を飾り、王国の人々を喜ばせる。図形を折り紙で作成する方法も紹介されており、身近な工作から図形の不思議さに気がつく絵本。 中島さち子 / 作・くすはら順子 / 絵 文研出版 1,300 円（税別）		どうぶつとんどん どうぶつに あいにくいよ。水浴びするゾウの親子、走るシマウマたち、ライオンの昼寝…、次はどんな動物が待っているだろう？ 様々な動物の日常の様子を迫力満点に描くことで、子どもの動物への興味、関心をもたらし絵本。 たしろちさと / 文・絵 大日本図書 1,300 円（税別）	
どんぐりむらのいちねんかん 「どんぐりむら」の仲間たちが過ごす一年間を月ごとに紹介する絵本。今までの「どんぐりむら」シリーズの全キャラクターが登場し、どんぐりたちの暮らしや行事を描く。日常の風景や月ごとの様々なイベントを通して、四季折々の「どんぐりむら」の魅力をあますことなく見せてくれる。 なかやみわ / 作・絵 学研プラス 1,200 円（税別）		ふしぎなしっぽのねこ カティンカ カティンカはとってもかわいいふつうのねこ。でもとっても魅力的なしっぽを持っている。カティンカとおばあさんは仲良く、のんびり気ままな毎日を送っていた。ある晩夜中に目を覚ましたおばあさんが、森へ向かうカティンカの後を追って森の中へ行くと、きらきら光ったしっぽのカティンカのまわりには、ほかの動物たちが集まってきて…。 ジュディス・カー / 作・絵・こだまともこ / 訳 徳間書店 1,500 円（税別）	
村じゅうみんなで 子どもの「あったらいいな」という願いを、村のみんなで協力し思いやりながら、形にしていこう物語。子どもが幸せになる世界の象徴として、丘の上の公園を作る様子が、表現力豊かでいきいきとしたイラストで描かれている。 互いに信じあい、学びあう共同体の中でこそ、子どもは十分に成長することができるということを教えてくれる、希望に満ちた絵本。 ヒラリー・ロダム・クリントン / 文 マール・フレイジー / 絵・落合恵子 / 訳 徳間書店 1,700 円（税別）			

2 小学校低学年以上対象

アニマルズ 生きもののおどろき 120

ソウやトビウオ、アリにカエル。人間とは違う動物や昆虫の面白い話が32ページの中に120も入っている。開いたページの端には、次のページにいる生き物のヒントが隠されていることもある。これはだれのしっぽかな？
動物や昆虫まつわる豆知識を、美しいイラストと共に紹介する自然科学読本。
エマ・ドッズ／文・マーク・アスピナル／絵
福岡伸一／訳
ポプラ社 1,500 円（税別）



きみ、なにがすき？

ある日、森の奥に住む一匹のあなぐまが、自分の庭で何かを作りたいと思いついた。友達のごぶたが好きなじゃがいもや、リすが好きなりんごなどを作ろうと張り切るものの、空回りばかりで思うように進まない。友達のはりねずみからアドバイスをもらい、一晩じっくり考えたあなぐまが作ったものとは？

はせがわさとみ／作
あかね書房 1,200 円（税別）



コクルおばあさんとねこ

ふうせん売りのコクルおばあさんは、ロンドンの町で黒ねこのピーターと仲良く暮らしていた。ところがピーターが家出をしまい心配のあまりすっかりやせてしまう。そして風の強いある日、いつものようにふうせんを売りにいったおばあさんは、風にあおられて空高くとばされてしまい…。
フィリパ・ピマス／作
アントニー・メイトランド／絵・前田三恵子／訳
徳間書店 1,300 円（税別）



ナージャの5つのがっこう

著者のナージャが、子どもの頃に5カ国の現地校に通った体験を綴った絵本。ロシア、イギリス、フランス、アメリカ、日本の順に各国の学校でのカバンの中の持ち物、クラスの机の配置、先生とクラスメイトの様子、授業の進め方等をわかりやすく楽しい絵で教えてくれる。

キリーロバ・ナージャ／文・市原淳／絵
大日本図書 1,400 円（税別）



歯っかけアーメンさま

小さなころからみんなには見えぬものが見えていたわっこちゃん。さんかくぼうしをかぶった茶色いおじさんの話をみんなにすると、「きもちわるい」とか「みえなくてよかった」と言われてしまう。もう誰にもいわない、と思っていたけれど、ある日、となりの席のもんまくんが…。
うれしい出会いや出来事があると、人は前を向けるかもしれません。
薫くみこ／作・かわかみたかこ／絵
理論社 1,200 円（税別）



ぼくはアイスクリーム博士

おじいちゃんからどんな夏休みを過ごしているかと聞かれて、サイコーの夏休みを過ごしているよとジョーくん。アイスクリームが大好きで、国語も算数もすべてアイスクリームでお勉強。好奇心はとどまることを知らず、世界のアイスクリームの歴史まで調べてしまう。今年の夏は、おじいちゃんとアイスクリーム山へ旅行に行きたいな。

ピーター・シス／作・たなかあきこ／訳
西村書店 1,500 円（税別）



まいにちがプレゼント

時間は誰にでも平等に、常に流れている。一日としておなじ日のない「きょう」という日は、私たちに送られるプレゼントなのかもしれません。
かわいらしいハリネズミの挿絵によって読みやすく、「きょう」を大事に生きる大切さについてすんなりと考えさせられる絵本。

いもとようこ／作・絵
金の星社 1,400 円（税別）



みずとはなんじゃ？

姿をかえる水、大事な栄養を体に運ぶ水、地球の生き物の命を守る水。水とはいったいどんなものなのでしょうか。
私たちの日常に当たり前のように存在する水をテーマに、その性質、役割や、海や川などの自然環境を大切にすることを学ぶことができる科学絵本。

かこさとし／作・鈴木まもる／絵
小峰書店 1,500 円（税別）



もうひとつのにじのしま

にじのしまに暮らしている、きつねとたぬきの子どもたち。お絵かきの時間にみんなの好きな世界を描いて、冒険に出発。どんな世界へ行くのかな。
児童養護施設で生活している子どもたちと、家庭で生活している子どもたちが協力して絵本の制作に携わり、読んでいる子どもにも、自ら描いてページを完成させる仕組みを用意することで参加意識を抱かせる。
えほん de みらい・こどもたち／作・絵
銀の鈴社 1,800 円（税別）



小学校低学年以上対象 計9冊

3 小学校中学年以上対象

アチチの小鬼

おじいちゃんとぼくがお話を作りながら、ゲームを進めていく。「知らん」と言ったらぼくの負け。物語の主人公となり、「右」が「左」が選択しながら、悪漢の一味に誘拐されたお姫様を助け、小鬼の力で悪漢や悪い大鬼も普通の人や普通の大鬼に変えてしまう。ぼくも積極的にお話作りに参加し、おじいちゃんを感じさせる。さて、ぼくはおじいちゃんに勝てるのか？

岡田淳／作・田中六大／絵
偕成社 1,200 円（税別）



オポッサムはないてません

むかし、ある森にいつもここにここきげんなオポッサムが住んでいた。ところが、木からさかさまにぶら下がるオポッサムを見た人間たちが、「口のりょうはしがフニャって下がってる。あいつはめめめオポッサムなんだ！」「めめめオポッサムを幸せにしよう！」と言いだした。
人間とオポッサムのやり取りがユーモラスでありながら、幸せとは何かを考えさせられる作品。
フランク・タシュリン／文・絵・小宮由／訳
大日本図書 1,400 円（税別）



消えた時間割

先生が一週間ごとに作る「時間割」に、墨汁がこぼれてしまった。菜々子の苦手な「体育の鉄ぼう」が墨汁で消えると、本当に鉄ぼうの時間がなくなってしまう。クラス中で起こる不思議な偶然をつくった原因は墨汁？そんなとき悠平が息を切らして教室にかけこんできて…。

西村友里／作・大庭賢哉／絵
学研プラス 1,300 円（税別）



車いすの図鑑

「車いすってどんなもの？」「車いすは道路のどこを通るの？」など、車いすについての疑問や車いすのしくみについてカラー写真を使用しわかりやすく解説した図鑑。
バリアフリーや障がい者スポーツについても紹介しており、障がいを持つ人が住みやすい街にするにはどうすればいいか、考えたり話し合ったりする教材になる。

高橋儀平／監修
金の星社 3,900 円（税別）





4 小学校高学年以上対象

フェルメール

この一瞬の光を永遠に

1632年にオランダのデルフトで生まれた画家、ヤン・フェルメール。その人生は謎が多い。今、残されているのはわずかな記録と35枚の絵のみ。フェルメールの絵には、彼の過ごした日常に近づくヒントがたくさん。彼の残した絵画から、謎に包まれたフェルメールの生涯を探る。

キアラ・ロッサーニ / 文
アンドレア・アレマンノ / 絵・結城昌子 / 監訳
西村書店 1,800円（税別）



魔女が相棒？ねぐせのヤマネ姫

しっかり者のサヤは、のんきで面倒くさがりな魔女ホーライによって「けもの呪い」をかけられた弓月の城へと連れてこられた。お城に暮らす人々を動物に変えてしまう「けもの呪い」はなぜかけられたのか。ホーライに頼まれ1日だけお姫さまの代わりをするはずだったサヤは、呪いをかけた強大な力を持つ魔女「雪の角」へと迫っていく。

柏葉幸子 / 作・長田恵子 / 絵
理論社 1,400円（税別）



モスクへおいでよ

東京・渋谷区にあるイスラーム（イスラム教）のモスク（礼拝所）、東京ジャーミイでは、一般の日本人を対象にした見学ツアーを開催している。ツアーの様子や、案内人をつとめる下山茂氏とイスラームとの出会いをたどりながら、イスラームを分かりやすく紹介する。

瀧井宏臣 / 著
小峰書店 1,500円（税別）



小学校高学年以上対象 計7冊

5 中学生以上対象

ザ・ヘイト・ユー・ギヴ あなたがくれた憎しみ

主人公は、黒人街に暮らす16歳の女子高校生スター。ある夜、友人のカリルがスターの目の前で白人警官に射殺される。無抵抗の黒人が射殺されたこの事件は、事実と異なる形で報道されていく。悩んだ末にスターは、カリルの汚名をすすぐために決意し、法廷に立つ。

アンジー・トーマス / 作・服部理佳 / 訳
岩崎書店 1,700円（税別）



ぜいたくなあさ

「ソルベの あおい つき」「おもいでのカラメリゼ」「みつの しずくの ともしび」といった、淡い色彩や繊細な細工を思わせることばが織りなす、詩集とも絵本ともつかない幻想的な8つの小作品集。

白鳥博康 / 文・もとやまさこ / 絵
銀の鈴社 3,000円（税別）



地図を広げて

4年前家をでていったお母さんが亡くなり、お母さんと一緒に福山で暮らしていた弟の圭が、中学生のわたしとお父さんの住む家で暮らすことになる。弟は、自転車でどこかへ出かけたり、日曜には福山に帰ったりする日々。環境の変化の中で、お互いを気遣う家族と周囲の人々の様子が、主人公の目を通して語られる。

岩瀬成子 / 作
偕成社 1,500円（税別）



一ツ蝶物語

高校二年生の悠真は、ある日、モンキチョウの幻を見てから、知らないはずの場所へ行きたくて仕方がなくなる。行ったこともないのに、知っている場所を訪れると、モンキチョウの導きで様々な時代、様々な場所の幻想が現れる。この幻想にはどんな意味があるのか、歴史の痕跡を辿る物語。

横山充男 / 作・辻恵 / 絵
ポプラ社 1,500円（税別）



K100 神奈川高校野球 真夏の球譜 上巻・下巻

神奈川の高校野球の魅力を紹介。上は、神奈川から巣立ちプロ野球で活躍するスターたちに迫る「現役ヒーロー編」、「スーパースター編」などを掲載。下は全国の強豪校の元選手や監督が神奈川の野球を語る「全国のライバル編」、「名将特別対談Ⅰ・Ⅱ」、「名指導者編」などを収録。

神奈川新聞スポーツ面連載「K100 神奈川高校野球」に加筆・修正して文庫化。写真も多数掲載。

神奈川新聞運動部 / 編著
神奈川新聞社 800円・900円（税別）



マンザナの風にのせて

1942年、日系アメリカ人のマナミは、突然、住みなれたワシントン州ベインブリッジ島から、家族で「強制立ち退き」しなければならなくなる。家族がスーツケースひとつの手荷物だけで移動した先は、カリフォルニア州にあるマンザナ強制収容所だった。愛犬と別れ、その悲しみから声を失ってしまった小学生のマナミが、失った声と生きる勇気を取り戻すまでの物語。

ロイス・セババーン / 作・若林千鶴 / 訳
ひだかのり子 / 絵
文研出版 1,500円（税別）



中学生以上対象 計6冊

平成31年1月28日推薦優良図書 計45冊

神奈川県児童福祉審議会では、青少年の皆さんに読んでいただきたい本の推薦を行っています。
(平成31年1月28日推薦)

心の成長期にある青少年が優良な図書に触れることは、とても大切なことです。
青少年に勧めていただく際の参考としてご活用ください。

神奈川県児童福祉審議会の審議にあたり、神奈川県読書推進会には情報提供をお願いし、
県立図書館には予備調査を実施していただくなど、ご協力いただきました。

問合せ先 神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部青少年課地域環境グループ 045-210-3848
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/cnt/f4151/p12556.html>

平成31年3月発行